

今年（平成28年）の夏は 参議院議員通常選挙！

あなたの大切な一票、必ず投票しましょう！
選挙権年齢が**18歳以上**に引き下げられます。

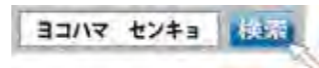


<インターネット等による啓発>

横浜市選挙管理委員会では、若い人に選挙への関心を高めてもらうため、インターネット上での啓発を実施しています。また選挙時には当該選挙の特設ページを作成し情報を提供しています。

○パソコンはこちらへ

[URL] <http://www.city.yokohama.lg.jp/senkyo/>



○スマートフォンはこちら

[URL] <http://www.city.yokohama.lg.jp/senkyo/smartphone/>



○ツイッターアカウントはこちら

[URL] https://twitter.com/yokohama_senkyo



白バラよこはま

No.46

平成28年1月発行

編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
横浜市中区港町1-1 ☎045(671)3335

▶【港北区】推進員研修



◀【鶴見区】つるみ臨海フェスティバル似顔絵ブース



▶【都筑区】区民まつりでの啓発

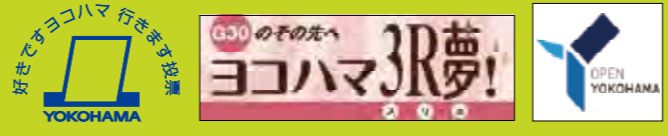


◀【金沢区】統一選挙街頭啓発「サイコット」



目次

- 推進委員・推進員の心得 2
- 各区今年度の事業 3~20
- 第16回投票参加状況調査結果(抜粋) 21
- 横浜市今年度の事業 22~23
- 横浜市明るい選挙推進リーダー研修会 ... 24
- 横浜市・区明るい選挙推進大会(平成26年度) 25
- 統一地方選の区別及び年齢別投票率 26
- 各選挙における投票率の推移 27
- 選管ホームページ等の紹介 28



明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意見を確かに政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

次の活動についても、積極的に実施していただくようお願いします。

- 投票立会人や開票事務への従事
 - 自治会・町内会における投票制度に関する広報、アドバイス
- これらの活動には、「明るい選挙推進のためのハンドブック」を御活用ください。



鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会では、今年度も様々なイベントに参加し、「投票率の向上」と、「不正のないきれいな選挙の実現」を広く呼びかけました。

8月に行われた「鶴見川サマーフェスティバル」では、当日のプログラムに啓発文を載せて、来場者の方々に投票の呼びかけをしました。また、10月に行われた「つるみ臨海フェスティバル」では、今年度も似顔絵ブースを出店し、ブースに来られた方はもちろん、フェスティバル会場内において啓発物品を配布しながら、投票への参加を呼びかけました。

10月には鶴見大学の学園祭である「紫雲祭」に参加し、実際の投票器材、投票用紙を用いたのポスターコンテストを実施しました。今年度は、ハロウィンをテーマに啓発用オリジナルパッケージのキャンディーを作成し、投票に参加した方々に配布しました。

その他、機関紙「イコットNEWS」の発行、中学校・高校への投票器材の貸出など、様々な活動を行いました。

1月以降は、中学校でのせんきょフォーラム、明るい選挙標語コンクールといった将来の有権者を対象とした事業や、推進員向けの啓発事業の実施を予定しています。

今後も引き続き、選挙への関心が高まるような啓発活動を行っていきます。

▼鶴見大学「紫雲祭」ポスターコンテスト



つるみ臨海フェスティバル似顔絵ブース ▲

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年5月	推進委員総会	平成26年度の事業報告を行うとともに、平成27年度の事業計画を審議した
8月	鶴見川花火大会(鶴見川サマーフェスティバル)	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
10月	つるみ臨海フェスティバル	「つるみ臨海フェスティバル」にブースを出展し、似顔絵コーナーを開催。似顔絵台紙に選挙の啓発文を掲載するとともに、会場内で啓発物品の配布を行い、明るい選挙推進協議会のPR及び選挙啓発を図った。
10月	鶴見大学「紫雲祭」	若年層に対する啓発の強化を目的として鶴見大学の学園祭である「紫雲祭」に参加。パンフレットに啓発文を掲載するとともに、紫雲祭実行委員会と連携して、投票器材を利用したポスターコンテストを実施し、啓発の場とした。
11月	中学校生徒音楽会	区内の中学生が参加する音楽会の会場にて、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布し、将来の有権者への動機づけを図った。
平成28年1～3月	鶴見区明るい選挙標語コンクール	小中学生を対象に冬休み期間を利用して選挙に関する標語のコンクールを実施し、選挙に関する意識の向上を図る。
	せんきょフォーラム	中学校にて出前講座を行い、将来の有権者への動機づけを図る。
	推進員スキルアップ事業	推進員としての意識の向上、及び知識等の取得を図る。また、推進員同士の交流の場を設ける。
	乳幼児健診における啓発	乳幼児健診に来場する若い親世代を対象に啓発物品を配布し、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、啓発を図る。

開催月	事業名	事業内容
通年	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に掲載、発行する。
	投票器材の貸出	区内の中学校・高校に投票器材を貸出し、将来の有権者への動機づけを図る。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員が作成した計画を元に、区内10地区にて街頭啓発を実施。参加者：計168名 鶴見駅にて街頭啓発を実施。参加者：計72名

▼鶴見駅にて昨年度入選標語の展示(統一選)



神奈川県

神奈川県明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加の促進を目指し、本年度も若年層啓発事業と区民啓発事業を柱に活動を行っています。特に若年層に向けた啓発は、選挙権年齢の引き下げがあったことから、より力を入れる年となりました。

若年層啓発事業では、10月に「神大フェスタ（神奈川大学学園祭）」に学生と協働参加し、似顔絵の贈呈やパネル等展示、啓発DVDの放映等を行いました。

また、将来の有権者に対する啓発として11月に神奈川中学校で「職業体験学習」として模擬投票を体験してもらい、選挙の大切さを呼び掛けるとともに、浦島丘中学校の生徒会選挙に参加し、本番さながらの選挙を体験してもらいました。更に新たな試みとして県立城郷高等学校で模擬投票をする出前授業を行ったり、幸ヶ谷小学校でピブリオバトル（書評合戦）のチャンプ本を決める模擬投票を行ったりするなど、将来の有権者に様々な方法で投票参加を呼びかけています。

このため区内小学校でのせんきょフォーラムは例年より多く実施することを見込んでいます。

区民啓発事業としては、「横浜FCかながわ区民DAY」「横浜FCエコパートナーDAY」「神奈川区民まつり」といった区民が多く集まるイベントに参加し、啓発物品の配布とともに明るい選挙を呼びかけました。

今後も明るくきれいな選挙の実現のため、各種活動に積極的に取り組んでいきます。

▼統一地方選挙街頭啓発実施風景 神奈川大学学園祭でのブース出展▼



幸ヶ谷小学校でのピブリオバトル模擬投票 ▲

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年5月	横浜FCかながわ区民DAYに参加	イコットJr.の着ぐるみを用いて選挙のPRを行いました。
6月	定例会	前年度の事業実績、決算報告、及び当該年度の事業計画案、予算案の審議を行いました。
8月	横浜FCエコパートナーDAYに参加	HALFタイムショーなどの機会を通じて選挙のPRを行いました。
10月	神奈川区民まつりに参加	来場者へ似顔絵の贈呈、パネル展示、啓発物品の配布を行いました。
	神奈川大学学園祭に参加	来場者へ似顔絵の贈呈、パネル等展示、啓発物品の配布を行いました。
11月	神奈川中学校主催「職業体験学習」	模擬投票の体験授業を行いました。
12月	城郷高等学校で出前授業	神奈川県選挙管理委員会と協働し、選挙の授業を行い、模擬投票を実施しました。
平成28年2月	推進員研修会	横浜市明るい選挙推進協議会委員の横浜市立大学和田淳一郎教授による講演会を実施します。
通年	せんきょフォーラム	区内の小中学校で「給食選挙」「生徒会選挙」といった身近なテーマで模擬投票を行う出前授業を実施します。 実施校：小学校18校、 中学校1校（予定含む）
	投票器材の貸出し	区内小中高等学校へ選挙器材の貸出しを行っています。あわせて、「学級委員選挙の手引き」や「生徒会役員選挙の手引き」を送付しました。
	啓発物品の作成・配布	啓発物品を作成し、イベント時配布や推進員を通じて地域で配布しました。

開催月	事業名	事業内容
	イコット通信の発行	隔月の年6回、協議会の活動等に関するお知らせを発行しています。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	推進員とともに啓発物品を配布し、投票参加を呼び掛けました。 場所：イオン東神奈川店前 他3か所
	推進員による地域での啓発	推進員を通じて、地域で啓発物品の配布を行いました。
	啓発広告掲載	地域情報誌（タウンニュース）に選挙PRの記事を掲載しました。
	啓発文の掲出	庁内の電光掲示板とYOUテレビのデータ放送を利用して、期日前投票と投票日の周知を行いました。また区ホームページで啓発バナーを掲出しました。
	区役所内啓発	庁舎に啓発横断幕及び懸垂幕を掲出しました。

西区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と、投票参加をより一層推進するために、各種啓発事業を行っています。

今年度は4月に統一地方選挙があり、区内の様々な地区で街頭啓発を行い多くの推進員が活躍しました。

11月の西区民まつりでは、野毛山動物園と共同でブース出展し、野毛山動物園に実際にいる動物の人気投票を実施しました。実際の投票箱、記載台を使用した模擬投票を通じて将来の有権者であることも投票を身近に感じてくれました。676人もの投票があり、一番人気はモルモットでした。

中学生・高校生に対してはせんきょフォーラムを行っています。11月には特別版としてKTC中央高等学院横浜キャンパスで、12月には市立老松中学校で授業及び模擬投票を実施しました。実際に投票することにより選挙への関心を高め、投票の大切さを実感してもらいました。生徒からは「こんなに簡単に投票ができると思わなかった」という意見が多く聞かれました。

また、12月に行われた「ハマのウォーキングフェスティバル」と連携し、選挙を身近に感じてもらうことをねらいとして、イコットちゃんの反射キーホルダーを参加者に配布しました。

このほか、推進員向けには3月に西区明るい選挙推進大会兼推進員研修を開催します。

▼統一街頭啓発「ザ・イコット」



ハマのウォーキングフェスティバルで配布した啓発物品 ▲

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年4月	みなとみらい21 さくらフェスタ2015	選挙マスコットであるイコットJr.が、さくらパレードに参加し、選挙のPRを行った。
5月	定例会	前年度の事業実績、決算の報告、及び当該年度の事業計画案、予算の審議を行った。また、今年度は、推進委員、推進員の改選期にあたり、新たに委嘱を行った。
11月	西区民まつり	野毛山動物園の動物の人気投票を行い、将来の有権者を含めた区民に対して、模擬投票を通じ、選挙への関心を高めた。
	せんきょフォーラム	模擬投票を通じて、選挙の意義を認識し、投票に対する意識を高めてもらうことをねらいとして開催した。 場所：KTC中央高等学院横浜キャンパス（11月） 市立老松中学校（12月）
12月	ハマのウォーキングフェスティバル	啓発物品として作成したイコットちゃんの反射キーホルダーをイベント参加者に配布した。
平成28年3月	西区明るい選挙推進大会兼推進員研修	推進委員、推進員の意識高揚並びに連携を深めることを目的に開催する。また、講演を行い、政治・選挙への意識の向上を図る。 場所：西区役所
年間	啓発物品の作成・配布	啓発物品（メモ帳）を作成し区民まつり等で配布している。
	学校での生徒会選挙等での実践啓発	中学校生徒会選挙に際して、投票器材を貸し出している。
平成27年7月 平成28年1月	明推協だよりの発行	推進委員、推進員の機関紙を発行している。 年2回

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	西区内の各地区において、投票参加を呼びかけ、啓発物品（ポケットティッシュ・花の種）を配布した。参加人数：77人
	3歳児検診での啓発	検診に来たこどもの保護者向けにクリアファイルを配布し、投票日等の周知を行った。
	広報モニターでの啓発	西区役所や横浜駅行政サービスコーナーなどに設置されている広報モニターで投票日や期日前投票所の周知を行った。
	広報よこはま西区版による啓発（26年度）	広報よこはま西区版（3月号）に期日前投票所の日時・場所等を中心に掲載し、PRを行った。

▼区民まつりで行った動物選挙の様子



中 区

中区明るい選挙推進協議会では、今年度も様々な常時啓発事業を実施し、投票率の向上を目指しました。

春から秋にかけては「tvk 秋じゃないけど収穫祭」や中区民祭り「ハローよこはま」といった大規模なイベントに参加することで幅広い世代の方に選挙に触れてもらうことが出来ました。

また、小中学生に選挙の大切さを知ってもらうために行っている「中区明るい選挙推進作文コンクール」を今年も実施しました。このコンクールは、今回で35回目を迎えますが、1,090作品の応募がありました。応募作品の中から厳正な審査の上で入賞作品を決定し、12月には入賞者を招いて中区役所で表彰式を行いました。

この他にも小中学校への投票器材の貸出しや高校文化祭への参加など、将来の有権者である若年層への働きかけを重視した啓発事業を実施しています。

▼ 中区民祭り「ハローよこはま 2015」



みなと総合高校文化祭 ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年 5月	tvk 秋じゃないけど収穫祭	日本大通りで開催された「tvk 秋じゃないけど収穫祭」で模擬投票を行い、711人の方に投票していただきました。
9月	せんきょフォーラム	横浜市立本牧中学校の選挙管理委員会の生徒を対象に選挙についての出前授業を行いました。
10月	高校文化祭への参加	横浜市立みなと総合高等学校の文化祭に参加し、「翌年の文化祭に来るマスコット」を決める選挙で599人の方に投票していただきました。
10月	中区民祭り (ハローよこはま)	横浜公園・日本大通りで開催された中区民祭り「ハローよこはま2015」に参加し、マスコットキャラクターの人気投票を行いました。人気投票には13体のマスコットが参加し、973人の方に投票していただきました。
通年	中区明るい選挙推進作文コンクール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施しました。12月には入賞者を招いて中区役所で表彰式を行いました。 応募作品数：1,090作品
通年	明推協通信「イコットニュース」発行	推進員への情報提供と選挙啓発意識向上を目的とした機関紙を発行しています。(年3回)
通年	投票器材の貸出し	区内の企業・学校等へ実際の選挙で使用している投票器材の貸出しを行っています。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	4月4日(土)中区明るい選挙推進委員、推進員71名が参加し、啓発用のポケットティッシュを配付しながら選挙期日の周知と投票参加の呼びかけをしました。 ・本牧地区、伊勢佐木地区(各1回)

▼ tvk 秋じゃないけど収穫祭



南 区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

7月には、南区の夏の風物詩である「南まつり」において、選挙ブースを出展し、選挙クイズとボール投げゲームを実施し、多くの親子連れに参加していただきました。

11月には、横浜地方検察庁へと出向き、推進員研修会を開催しました。また、南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクターの「まねっきー」と啓発標語が掲載されたポケットカレンダーを作成、配布しました。

秋の「南区文化祭」、「ボイス・オブ・ユース(青年の主張)」や、南区の春の一大イベントである「桜まつり」にも協賛し、パンフレットやポスターなどに啓発標語などを掲載し、小学生から有権者の方まで幅広く呼びかけを行っています。

12月には、明るい選挙映画会を開催し、若い有権者と将来の有権者に選挙啓発活動を行いました。また、映画会の冒頭には、選挙功労者表彰式も行いました。

3月に実施予定のせんきょフォーラムでは、高校生を対象に啓発講演会を行います。

また、年間を通じて、中学校・高等学校の生徒会選挙が実施される際に、選挙器材の貸し出しを行いました。

▼ 南まつり「選挙クイズ」



推進員研修会 ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年 6月、10月 2月	明推協だより	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行。
7月	南まつり	選挙ブースを出展、選挙クイズを実施し、回答者にはボール投げゲームへの挑戦権と啓発物品を配布。ボール投げゲームでは、参加した子どもに啓発物品を配布。
10月	いきいきふれあい南なんデー	来場者の方に対し、啓発物品のウェットティッシュを配布。
10月、11月	区文化祭、ボイス・オブ・ユース	南区恒例の文化行事に協賛し、配布物に啓発標語などを掲載。
11月	推進員研修会	横浜地方検察庁への施設見学会。
11月	「まねっきー」クリーン選挙PR事業	当協議会のマスコット「まねっきー」と啓発標語の入ったポケットカレンダーを作成し、広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかけている。
12月	明るい選挙映画会	若年層を対象とした啓発を目的に、親子映画会を開催。アニメ映画「怪盗グルーのミニオン危機一発」を上映。併せて、投票管理者・立会人を長年にわたって務めた方に対して選挙功労者表彰を実施。
平成28年 3月	桜まつり	南区春の風物的行事「桜まつり」の会場である大岡川沿いの桜並木に、選挙啓発標語入りの「ぼんぼり」を掲げる予定。
3月	せんきょフォーラム	高校生を対象として、神奈川県立横浜清陵総合高等学校にて講演会を実施する予定。
年間	投票器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ選挙器材を貸し出している。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	桜まつり会場(大岡川プロムナード)にて啓発物品を配りながら投票参加を呼びかける予定でしたが、雨天のため中止となりました。
	「いきいきふれあい南なんデー」	南区健康福祉まつり来場者の方々にミニタオルを配布し啓発を行いました。
	子育て中の親への啓発	1歳6か月・3歳児の乳幼児健診に訪れた保護者の方を対象に、クリアファイルや色鉛筆を配布し、啓発を行いました。

▼ 映画会の受付の様子



港南区

港南区明るい選挙推進協議会では、主に若年層を対象とした啓発活動に力を入れています。

8月に実施した明るい選挙映画上映会では、投票率が低い子育て世代に対し、選挙について考えてもらうきっかけとするため、親子で楽しめる映画「サミーとシェリー 七つの海の大冒険」の上映を行いました。多くの親子連れで賑わい、親子で相談しながら選挙クイズに回答する姿が見られました。

9月から10月にかけては、区内4校の高校文化祭に選挙啓発ブースを出展しました。本物の選挙器材に興味を持つ生徒も多く、選挙権が18歳以上となることを踏まえ、より選挙に関心を持ってもらう良い機会となりました。

1月に実施した明るい選挙啓発講演会では、落語家の桂歌助さんをお招きし、「選挙」と「人権」を織り交ぜた落語を披露していただき、会場は笑いで賑わいました。

1月から始まったせんきょフォーラムでは、区内5校の小学校及び区内の高等特別支援学校にて、模擬選挙を実施しています。本物の選挙器材に触れながら、身近なテーマで本番さながらの模擬選挙を行っており、引き続き2月まで実施しています。

今後も、推進委員・推進員が一丸となって、効果的な啓発活動を行ってまいります！

▼ 明るい選挙映画上映会



南高校文化祭 ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年6月	明るい選挙推進協議会委員会	平成26年度の事業報告、平成27年度の事業計画等の審議を行った。
8月	明るい選挙推進協議会総会（委嘱式・推進大会）	役員改選、平成27・28年度推進員の委嘱式、明るい選挙推進についての決議文採択等を行った。
	明るい選挙映画上映会	映画「サミーとシェリー 七つの海の大冒険」の上映を行った。また、選挙器材を用いた選挙クイズの実施や選挙パネルの展示を行った。
9月～10月	区内高校文化祭での選挙啓発ブース出展	区内4校の高校文化祭に選挙啓発ブースを出展し、選挙クイズ、啓発パネルの展示、啓発物品等を配布した。
平成28年1月	明るい選挙啓発講演会	落語家の桂歌助さんを迎え、「選挙」及び「人権」を織り交ぜた落語を披露していただいた。
1月～2月	せんきょフォーラム（模擬選挙）	区内5校の小学校及び区内の高等特別支援学校で、給食メニュー等を定める模擬選挙を実施した。
年3回	明推協だよりの発行	推進委員・推進員を対象に、事業計画・事業報告、各種イベントの案内・報告等を掲載した。
通年	啓発物品の作製	「フラッシュ9ライト」を作製し、イベント等で配布した。
	選挙器材貸出	区内の中学校や高校の生徒会選挙等に際し、投票箱や記載台など選挙器材を貸し出した。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	物品設置による啓発（選管事業）	幅広い年齢層が利用する区内の地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザ等に啓発物品のポケットティッシュを設置した。
	広報紙による選挙情報の掲載（選管事業）	広報よこはま・港南区版に、期日前投票と投票日に関する情報を掲載し、周知を図った。
	区内イベントでの啓発物品配布	「港南桜まつり」にて、参加者にポケットティッシュを配布し、投票を呼びかけた。

▼ 横浜南陵高校文化祭



保土ケ谷区

保土ケ谷区の明るい選挙推進協議会では、『不正のない明るい選挙の実現』と『投票参加の向上』を目指し、啓発活動を行っています。

今年度は次の随時啓発事業を実施しています。

5月に区内で開催した「ほどがや花フェスタ」で、選挙クイズ付ポケットティッシュを配布しました。

10月には、「ほどがや区民まつり」でブースを出店し、投票参加の向上に関するアンケートを行い、本物の投票箱に投函してもらいました。

11月には、「ほどがやバンドバトル」を保土ケ谷公会堂で、青少年指導員協議会と共催しました。区内高校からバンドを募り、優勝グループバンドを決める模擬投票を行いました。また、ステージ上では、選挙に対する自分たちの考え等をアピールしていただきました。

平成28年1月には、「給食選挙で小学校生活最後の給食に思い出を！」をテーマに、区内の小学校の6年生を対象に面白くわかりやすい形で投票を体験してもらう「給食選挙」を実施する予定です。

さらに、通年で「イベント参加型啓発」を行っています。7月から11月には、委員や推進員の方々に自治会・町内会で行われる夏祭り等で啓発物品を配布していただきました。



ほどがや区民まつり選挙啓発 ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年5月	ほどがや花フェスタ来場者への選挙啓発	ほどがや花フェスタの来場者に選挙クイズ付ポケットティッシュを配布し、平成28年参院選への投票参加を呼びかけました。
10月	ほどがや区民まつり	県立保土ケ谷公園で行われたほどがや区民まつりにブースを出店し、投票参加の向上に関するアンケートコーナーを設けました。アンケート用紙は本物の投票箱に投函してもらいました。また、アンケートに答えてくれた方には、景品付きのサイコロゲームを楽しんでいただきました。来場者には「投票へ行こう！」のロゴ入りフリクションボールペンを配布しました。
11月	ほどがやバンドバトル	青少年指導員協議会と共催し、区内高校のグループによるバンドで演奏を競いました。また、当日はイコット Jr. の着ぐるみが登場したほか、演奏の合間に選挙クイズを行いました。優勝者を決める際は実際の投票箱、記載台を使うなどし、投票・開票を実体験してもらいました。
平成28年1月	給食選挙	小学6年生を対象にいくつかの給食の献立から、自分が食べたいものを投票してもらい、1番票が多かったものを、小学校最後の給食として出します。投票には実際の投票箱・投票用紙を使います。
通年	選挙器材の貸し出し	区内中学校等に選挙器材の貸し出しを行い、選挙に親しみをもってもらいます。
通年	イベント参加型啓発	町内会の祭り等で推進員の方に啓発物品の配布をしていただいています。
年3回	明推協だより	委員・推進員向けの機関紙を発行します。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	駅周辺で投票参加を呼びかけ、ティッシュなどの啓発物品を配布しました。 日時：平成27年3月30日（月） 場所：保土ケ谷駅西口 啓発物品：ポケットティッシュ 参加人数：15人程度

▼ バンドバトル演奏の光景



旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、今年度も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発事業を実施しています。

今年度は推進委員及び推進員の改選があり、それに伴い6月に「旭区明るい選挙推進協議会 研修会」を開催しました。協議会の目的や明るい選挙推進運動の歴史について学び、推進員としての意識の向上を図りました。

8月には旭区内で開催された「道の日キャンペーン」に参加し、啓発活動を行いました。

10月には「旭ふれあい区民まつり」に参加し、明るい選挙推進協議会をPRすると共に、ズーラシア動物の人気投票等を行いました。

また選挙権年齢の引き下げに伴い、今年度は新たに高校文化祭での啓発活動も行いました。10月と11月に1校ずつ出展し、選挙クイズやアンケート、啓発物品の配布等を行いました。

12月から1月にかけては、3校の小学校で「旭せんきょフォーラム」を実施し、未来の有権者である小学生を対象とした模擬投票・開票を行いました。

2月には就学前のお子様を対象にした「ゆかいなコンサート」を開催し、子育て世代への、投票の呼びかけを行います。

また中学校の生徒会選挙時には、選挙機材や物品の貸出も行っております。今後も「明るくきれいな選挙の実現」を目指して活動していきます。

▼道の日キャンペーン



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年5月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	平成26年度の事業・決算報告及び平成27年度の事業計画・予算案について審議を行った。 日時：平成27年5月28日 場所：旭区役所カンファレンスルーム
6月	旭区明るい選挙推進協議会 研修会	推進員の改選に伴い、研修会を開催した。当協議会の歴史や目的について理解を深め、推進員としての意識向上を図った。 日時：平成27年6月26日 場所：旭公会堂
8月	道の日キャンペーン	旭土木事務所主催のキャンペーンに参加し、啓発用のウェットティッシュやボールペン等を配布しながら啓発活動を行った。 日時：平成27年8月7日 場所：相鉄線二俣川駅前第二歩道橋
10月	旭ふれあい区民まつり	区民まつりにブースを設け、ズーラシアの動物の人気投票や啓発チラシの配布を実施し、明るい選挙を呼びかけた。 日時：平成27年10月18日 場所：旭区役所第一駐車場
10月～11月	高校文化祭への出展	啓発パネルの展示、選挙に関するクイズとアンケートや、啓発物品の配布を行った。 平成27年10月25日 旭陵高校 平成27年11月15日 星槎高校
12月～平成28年1月	旭せんきょフォーラム	区内の小学生を対象に給食のメニュー等、身近な話題をテーマにした模擬選挙を行い、選挙に対する理解・関心を深める。 平成27年12月18日 中沢小学校 平成28年1月15日 白根小学校 平成28年1月25日 二俣川小学校
2月	ゆかいなコンサート	未就学児向けのコンサートを開催し、子育て世代へ投票の呼びかけを行う予定。 日時：平成27年2月28日 場所：旭公会堂

●選挙時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
年間	選挙機材・物品の貸出	区内中学校の生徒会選挙時に、投票箱、記載台や選挙運動用のたすきやのぼり旗等の貸出を行った。
	イコット通信の発行(年3回)	推進委員・推進員への情報提供・イベント参加の呼びかけを目的とした機関紙「あさひイコット通信」を発行。
	企画検討委員会(年3回)	啓発活動の内容について、推進員と企画・検討を行っている。

▼旭ふれあい区民まつり



磯 子 区

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上をめざし、各種啓発事業を実施しています。

今年度は、「明るい選挙推進講演会映画会」を杉田劇場で開催するため、7月の「ロビーパフォーマンス」と8月の「夏祭り」という杉田劇場の2つのイベントに横浜市選挙キャラクター『イコット Jr.』が参加しました。

9月には、「磯子まつり」の一環として区役所1階のホールに選挙クイズブースを設け、約620名の方に参加していただきました。選挙クイズに答えてもらい、正解者にはくじ引きで啓発物品をお渡しし、楽しく選挙に関する知識を深めることが出来ました。

12月には、岡村中学校で「せんきょフォーラム」を開催しました。将来の有権者である中学生を対象に、選挙の歴史や18歳選挙権に関する説明を生徒会選挙の中で行いました。

平成28年2月には、「明るい選挙推進講演会映画会」を開催します。講演会は上智大学教授の田中治彦氏を迎え、『18歳選挙権と私たちの課題』をテーマに講演をしていただき、映画会は『ミニオンズ』を上映します。

また、年間を通して、中学校の生徒会選挙時に投票箱や記載台、たすきなどの物品を貸し出し、実際の選挙の雰囲気を感じてもらっています。

▼磯子まつりでの選挙クイズの様子



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年5月	定例会	平成26年度の事業報告・決算報告および平成27年度の事業計画・予算案について審議を行った。 日時：平成27年5月14日(木) 場所：磯子区役所
7月	杉田劇場 ロビーパフォーマンス	未就学児向けに行われているイベントにイコット Jr.が参加。 日時：平成27年7月16日(木) 場所：杉田劇場
8月	杉田劇場 夏祭り	イコット Jr.が夏祭りに参加。参加者と写真をとったり、じゃんけん大会に参加したりと夏祭りを盛り上げるのに一役買い、幅広い世代を対象に啓発を行った。 日時：平成27年8月21日(金) 場所：杉田劇場
9月	磯子まつり	磯子まつりにてブースを設け、選挙に関するクイズを出題し正解者にくじを引いてもらい、その結果で選挙啓発物品を配布。 日時：平成27年9月27日(日) 場所：磯子区役所1階
12月	せんきょフォーラム	生徒会選挙時に将来の有権者である中学生に対して磯子区職員が公選法改正の説明を行った。 日時：平成27年12月11日(金) 場所：岡村中学校
平成28年2月	磯子区明るい選挙推進講演会・映画会	推進員、一般の方を対象とした講演会・映画会を開催予定。 日時：平成28年2月20日(土) 場所：杉田劇場 講師：上智大学教授 田中治彦氏 テーマ：『18歳選挙権と私たちの課題』 映画：『ミニオンズ』
年間	生徒会選挙物品および器材貸出	区内の中学生に実際の選挙の雰囲気を体験してもらうため、生徒会選挙時に投票箱や記載台を貸出した。

●選挙時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
	明推協だよりの発行(年3回)	推進委員・推進員を対象に明推協の機関紙を発行。事業紹介・報告に加え選挙啓発にかかわる内容を掲載している。
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	JR根岸駅、磯子駅、新杉田駅、洋光台駅の4駅において、投票参加を呼びかける街頭啓発を行う予定であったが、天候不良により中止。

▼せんきょフォーラム(岡村中学校)



金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに、様々な啓発事業を企画・実施しています。

7月4日には、幼児から小学生の子供をもつ家族を対象にした「親子映画会」を開催し、選挙マスコットとのふれあいやオリジナルグッズの配布、本物の記載台や投票箱を用いたアンケートなどを実施し、選挙を身近に感じていただきました。

10月31日・11月1日に開催された関東学院大学の文化祭「平潟祭」の来場者や在学生に向けた啓発として、明るい選挙推進協議会の取り組みを紹介するパネルを掲示し、グッズの配布と合わせて多くの若年層にPRすることができました。

12月22日は、区内大道中学校にて在校生に加え保護者の方や地域の皆さまを対象に「せんきょフォーラム」を開催しました。落語家を講師として招き、投票に行くことの大切さを落語を交えてわかりやすく伝えてもらうという趣旨で、生徒からも大変好評でした。

この他にも、区内各学校への「選挙器材の貸出し」や、広報よこはま金沢区版および区役所ホームページを利用した「選挙クイズ」など政治・選挙に対する意識向上を目指し活動しています。

▼関東学院大学へのブース出展



街頭啓発「ザ・イコット」▲

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年5月	企画検討会	事業活性化と推進員の運営参画の場として開催し、事務局と協議会推進員との間で平成26年度事業の振り返り、平成27年度事業の企画立案の検討を行いました。
6月	定例会	平成26年度事業結果及び決算の報告、平成27年度事業計画及び予算案について審議を行いました。
7月	親子映画会	若年有権者の選挙意識向上を図るため、「ハルのふえ／アンパンマンが生まれた日」の2本を上映し、同時に啓発ビデオの上映、啓発物品及びチラシの配布を行いました。場所：金沢公会堂
10月	関東学院大学学園祭パネル展示	大学生に明推協活動を周知し、投票参加を呼びかけるため、パネル展示と啓発物品の配布を行いました。
12月	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催しました。場所：横浜市立大道中学校 講師：三遊亭 多歌介(落語家)
平成28年2月	選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版および区役所HPに選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で記念品を贈呈します。
3月	明るい選挙推進大会・研修会	当協議会推進員の政治意識向上のため、国会議事堂等を見学する研修会を行います。(調整中)
年間	明推協にゆうす発行	事業に関する情報提供や意識向上のため推進委員・推進員向けに機関紙を発行します。(年3回：6月、7月、3月) 事業計画及び結果報告 各種事業案内 選挙結果報告 等

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	平成27年4月7日(火)夕方に、帰宅途中の方をターゲットとして、投票参加を呼び掛けながらチラシ入りのポケットティッシュを配布しました。場所：京急線金沢文庫駅前および駅前商店街 参加人数：11人



▲明るい選挙親子映画会

港 北 区

港北区明るい選挙推進協議会では、区民の方々に選挙・政治意識の向上が図られるよう様々な事業を行っています。

6月から9月にかけて、「推進員向け研修」を開催し、政治・選挙や各地域における啓発活動等について自由闊達な意見交換を行いました。

9月から11月には、区内の高等学校2校の学園祭に参加し、本物の器材に触れ選挙を体験してもらう「模擬選挙」を行いました。実施したアンケートでは、投票年齢の引下げについて95%の人が知っており、興味を持って投票を行ってくれました。

10月には、「ふるさと港北ふれあいまつり」にてブース出店(わなげ)を行い、親子連れに向けて啓発活動を実施しました。あわせて、選挙に関するアンケートを実施し、回答してもらうことにより選挙への関心を高めていきました。

同じく10月には、区内の小学生を対象に選挙クイズと実際の器材を用いた模擬選挙を実施しました。

1月からは、乳幼児健診へ来られる方への啓発事業を行っています。また、2月には推進大会及び記念講演会、せんきょフォーラムを実施していく予定です。

今後も協議会の推進委員、推進員の皆様との連携を図り、明るい選挙推進運動のより良いあり方を考え事業を推進していきます。

▼推進員向け研修での意見交換の風景です



▲新羽高等学校学園祭にて

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年6月	港北区明るい選挙推進協議会定例会議	平成26年度の事業報告及び平成27年度の事業計画の審議を行いました。
6月～9月	推進員向け研修	政治・選挙や各地域における啓発活動等について自由闊達な意見交換を行い、一人ひとりが選挙の知識を深め、今後の啓発活動について検討しました。今年度実施地区：高田、綱島、城郷、その他地区合同 参加者：141人
9月	新羽高等学校学園祭	神奈川県立新羽高等学校学園祭に参加し、本物の投票器材を用いた、「模擬選挙」を行いました。「成人年齢の引下げ」をテーマに来場者も真剣に考えて投票してくれました。来場者数：約400人
10月	ふるさと港北ふれあいまつり	選挙のアンケートに回答することで参加できる、わなげのブースを出店し、親子を中心に明推協の啓発活動を行いました。場所：新横浜駅前公園 来場者：約400人
10月	新羽小学校土曜塾	区内(1校)の小学生を対象に選挙クイズや実際の器材を用いた模擬選挙を実施し、選挙への関心と知識を深めました。参加者：約30人
10月～11月	岸根高等学校学園祭	神奈川県立岸根高等学校学園祭に参加し、本物の投票器材を用いた、「学園祭出展ブース人気選挙」を行いました。来場者数：約200人
平成28年1月	子育て世代への啓発事業	乳幼児健診会場にて、健診に来られている方を対象に啓発物品の配布を行い、選挙への関心を高めます。
2月	港北区明るい選挙推進大会及び記念講演	推進員が一堂に会し、きれいな選挙と投票への総参加の実現を目指した推進運動を、

開催月	事業名	事業内容
	演会	引き続き展開していくことを確認するとともに、政治や選挙に関する記念講演会を行います。
2月	せんきょフォーラム	高田東小学校で模擬投票形式のフォーラム事業を実施する予定です。
年3回	企画検討委員会	明るい選挙推進運動事業の企画内容について、推進員の代表の方々による検討会議を行います。
9月～12月	投票器材貸出し事業	中学校・高等学校の生徒会選挙の際に記載台、投票箱などの器材を貸出し、選挙の雰囲気を感じてもらいました。
年3回	港北区イコット通信	区明推協の機関紙として発行し、推進員への啓発を図るとともに、事業の紹介、報告等を行います。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	区内の連合町内会の区域ごとに駅前や商店街等を拠点に啓発物品を配布しながら投票参加の呼びかけを行いました。場所：菊名・綱島・城郷など計8地区の駅前や商業施設等 計：9回 参加人数：約100人

緑 区

緑区明るい選挙推進協議会では、投票率の向上と、将来世代の有権者が選挙に関心を持ってもらうことを目的として活動しています。

本年度は、平成28年に導入される予定の18歳選挙権を見据え、次期有権者や有権者になって間もない世代を中心に啓発活動を行いました。

まず、各自治会の集まりや夏祭りで配布いただく啓発物品として、植物育成セット「プチガーデン」を作成しました。この啓発物品には、今後新たな有権者が、自身の一票は大切という意識を持って欲しいとの願いを込めて、「一票が未来を育てる」というメッセージを添えました。

次に、10月18日には、恒例の緑区民まつりにおいて、ボディペイントアーティストを呼び、「フェイスペイント」ブースを出展しました。デザインは季節柄、ハロウィンのキャラクターを軸に、なんとイコットJrのデザインも登場しました。ペイントには時間がかかるため、待ち時間に選挙クイズやイコットの塗り絵、迷路を楽しんでもらうことで、子供たちにイコットやイコットJrというキャラクターに親んでもらうことができました。

そして、1月には今年度最大のイベントである、18歳選挙権をメインテーマとした啓発講演会を開催しました。講師には、「全国高校生向け主権者教育副教材」の作成に、執筆者として参画されたNPO法人の代表者の方をお招きしました。区内の大学を会場とすることで、地域の方と選挙権を持ったばかりの若年層の方が一堂に会した貴重な場となり、自分の街の行政、政治を知り、自ら考える事の大切さに気付いていただける機会であったことと思います。今後も若年層を対象とした啓発活動に重点を置き、活動して参ります。

▼ 推進員研修会講師と熱心に聞き入る参加者の方々



チョイモビも駆けつけた統一地方選挙の駅頭啓発 ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年 6月15日	定例会議	前年度の事業報告、決算・監査報告、今年度の事業計画、予算案等について審議しました。
6月29日	推進員研修会	神奈川新聞社 取締役統合編集局長を講師に招き、講演会を実施しました。
7月13日	第1回プロジェクト会議	推進員のうち12人をプロジェクト委員とし、区民まつりや、啓発物品のアイデア等を検討しました。
9月14日	第2回プロジェクト会議	啓発物品の振り返りと啓発講演会のアイデア等を検討しました。
10月18日	区民まつり	ボディペイントアーティストによるブースを出展しました。
平成28年 1月20日	緑区明るい選挙推進講演会	NPO法人YouthCreate代表 原田謙介氏を講師に招き、「1票の使い方、1票以外の使い方」というテーマで講演会を行いました。
2月下旬から 3月上旬	選挙フォーラム	十日市場中学校にて選挙フォーラムを行います。(詳細については調整中)
3月上旬	第3回プロジェクト会議	今年度の総括及び来年度の方針について検討予定です。
通年	イコット通信の発行	協議会の機関誌を年4回発行。活動報告や今後の活動のお知らせを掲載します。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	乳幼児健診受診者に対する啓発	乳幼児健診のために区役所に来庁した保護者と幼児に、子供用啓発物品を配布しました。
	区内4駅における街頭啓発	長津田駅、十日市場駅、中山駅、鴨居駅において、計69名がティッシュ配りを実施しました。

▼ 盛り上がった区民まつりでのボディペイント



青 葉 区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目的に、今年度も様々な啓発活動を行っています。

今年度の青葉区明るい選挙推進協議会の活動は、4月に執行された第18回統一地方選挙に伴う街頭啓発からスタートしました。

7月には推進委員・推進員を対象に「18歳選挙権と啓発活動」をテーマとした研修会を開催し、若年層への主権者教育の推進に向けた認識の共有を図りました。

また、今年度も常時啓発活動の一環として、11月3日の青葉区民まつりに参加しました。当日は青葉区明るい選挙推進協議会のブースを出店し、企画運営チームのメンバーが中心となってフランクフルトを販売。購入者に対し選挙クイズ(正解するとおまけでもう一本!)を出題しました。そのほかにも、横浜市立市ケ尾中学校の生徒が青葉区選挙マスコット「えら坊」の着ぐるみを着て来場者へ投票参加を呼びかけたり、推進員が啓発活動に関するアンケートを実施したりしました。

1月・2月には、小学6年生への選挙啓発活動として、要望のあった複数の区内小学校と調整のうえ、せんきょフォーラム(出前授業・模擬投票)の実施を予定しています。(11月に1校で先行実施)併せて、推進員が啓発時に着用するベストの購入や、青葉区明るい選挙推進協議会の活動を掲載したイコット通信の発行など、引き続き投票参加につながる啓発活動を実施していく予定です。

▼ 「研修会」松本先生による講演 「せんきょフォーラム」(荇子田小学校) ▼



「青葉区民まつり2015」にて ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年 6月	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の事業実績・決算報告及び今年度の事業計画・予算審議を行った。
7月	青葉区明るい選挙推進協議会推進委員・推進員研修会	不正のない選挙の実現と投票参加を促進するため、大学教授を講師としてお招きして研修会を開催し、選挙や啓発活動への理解・関心を高めていただいた。 開催日：平成27年7月22日(水) 場 所：青葉区役所4階会議室 講 師：松本 正生 氏 (埼玉大学社会調査研究センター長) テーマ：「18歳選挙権と啓発活動～若年層の政治意識と投票率向上のための取り組み～」 参加者：58人(推進委員・推進員・事務局)
11月	青葉区民まつり2015	明るい選挙推進協議会(以下、明推協)のブースを出店し、選挙クイズ付きフランクフルトの販売や明推協アンケート、啓発物品の配布を実施するなど、選挙啓発活動に取り組んだ。 開催日：平成27年11月3日(火) 場 所：青葉区役所第1・2駐車場 参加者：39人(推進委員・推進員・事務局・市ケ尾中学校(引率教師・生徒))
11月 ～平成28年 2月	せんきょフォーラム	将来の有権者である小学6年生を対象に、選挙への関心や知識を高めることを目的として、出前授業及び模擬投票を実施する。 (※今年度は少なくとも5校で実施予定)
通年	企画運営チーム会議	明推協事業実施に際して、推進委員・推進員希望者で構成されたチームが主体となり、選挙やイベント時等の選挙啓発活動について、効果的な実施方法等の検討を実施する。(※7月に第1回開催。年2回を目安に実施予定)
年2回 (9月・3月(予定))	イコット通信の発行	選挙啓発活動の周知を行うため、明推協の事業紹介や選挙結果報告等を掲載した機関紙を発行し、自治会町内会での回覧

開催月	事業名	事業内容
通年	投票器材貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持ってもらうため、生徒会役員選挙や選挙学習の教材として、区内の学校等に投票箱や記載台の貸し出しを行う。(※12月までに11団体へ貸出)
通年	啓発物品の購入	平成28年夏の参院選を見据え、推進員が啓発時に着用するベストを購入予定。
通年	メディアへのPR (イベントへの協賛等含む)	昨年度に続き青葉区民マラソンへ協賛し、ランナー約600人へシューズケースとして使ってもらったことでもできる蛍光リュックを贈呈した。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコット」	駅構内でプラカードやのぼり旗を掲げ、啓発物品(ポケットティッシュ)を配布しながら、投票日・期日前投票等の周知、投票参加の呼びかけを行った。 実施日：(1)平成27年4月4日(土) (2)平成27年4月5日(日) 場 所：(1)あざみ野駅 (2)青葉台駅 参加者：(1)40人 (2)37人 (推進委員・推進員・事務局)

都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、6月に明るい選挙推進大会を開催し、平成27・28年度の推進員346名で「明推協の役割」と「選挙権年齢引き下げ」についての学習、「誰もが投票しやすい環境づくり」DVDの視聴及び大会決議文の採択等を行い、積極的な啓発活動をしていくことを確認しました。また、研修として講演会を開催し、講師に明治学院大学法学部教授 川上和久氏をお招きし、「今後の明るい選挙推進運動の役割について」をテーマに今後明るい選挙推進協議会が担う役割について伝えていただきました。

11月の都筑区民まつりでブースを出店し、選挙パネルクイズ、イコット着ぐるみによる啓発を行いました。明推協委員及び推進員が積極的に啓発活動に協力し、パネルクイズでは昨年を大きく上回る952人も参加がありました。

前年度に引き続きせんきょフォーラムとして、若年層向けの選挙啓発の取組として、区内の小学6年生を対象に選挙に関する授業と模擬選挙（投票）を行っています。教科書だけではわかりにくい選挙の仕組みについて、実際の選挙器材を使って分かりやすい授業を行っています。また区内の中学生を対象に生徒会役員選挙に合わせて、日本の選挙のあゆみや特徴をわかりやすく伝える出前授業を行っています。

都筑区の特徴である15の各地区協議会においては、夏祭りや運動会等のイベント時の啓発や勉強会、また選挙啓発のポスターコンクールの開催等、各地区独自のアイデアによって選挙啓発に取り組んでいます。

▼ 明るい選挙推進大会の講演の様子



区民まつりでの啓発の様子 ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年5月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度の事業内容を振り返り、平成27年度事業計画について協議を行う。
6月	都筑区明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現及び投票参加の推進の活動方針の確認と講演会。
8月	明推協PR事業	「星空のコンサート」に協賛し、ポスターへの記載及び当日の選挙啓発の実施。
6月、3月	明推協だより（つづき区版）の発行	明推協の機関紙として、推進委員・推進員に活動内容等を報告。
10月	せんきょフォーラム	中学校で生徒会役員選挙に合わせて出前授業を行い中学生に選挙について理解を深めてもらう。
11月	都筑区民まつり参加	都筑区民まつり等において明推協のブースを設け、選挙啓発及び明推協のPR。
平成28年1月～2月	せんきょフォーラム	小学校で出前選挙を行い、投票から開票までを小学生が行い選挙について関心をもってもらう。
年間	地区協議会企画事業	地区協議会ごとに啓発・研修事業を展開するとともに、メモ帳等の啓発物品を各地区において配布し常時啓発を行う。
年間	未来の有権者育成事業	生徒の選挙についての理解を深めるため、区内小、中及び高等学校の生徒会役員選挙に投票器材等の貸出しを行う。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	カウントダウンボード設置	地方選挙に向けて都筑区総合庁舎内でカウントダウンボードを実施し、区内有権者への周知を行った。
	街頭啓発	「新☆つづき人交流フェスタ」（センター南駅前すきっぷ広場）及び「都筑応援day」（横浜国際プール）にて計13名の委員・推進員で街頭啓発を実施。

▼ カウントダウンボード除幕式の様子



戸 塚 区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、13人の推進委員と40人の推進員が、それぞれアイデアを持ち寄って月に一度のペースで会合を開き、区民まつり、イコット映画会、講演会など、様々な啓発事業に取り組んでいます。

6月には、役員改選により今年から新しく明推協に参加した推進委員、推進員向けに「明るい選挙研修会」を開きました。当区統計選挙係長に明推協や選挙に関する基礎知識や、選管職員ならではのお話をさせていただきました。

「戸塚ふれあい区民まつり」では、啓発グッズの配布や選挙クイズを実施し、幅広い年代への啓発に努めました。記載台でクイズに回答し、その回答用紙を投票箱に入れてもらうことによって、参加者は楽しみながら投票の模擬体験をすることができました。

2月7日には「イコット映画会」が開催されます。今年子どもから大人まで楽しめる「劇場版ムーミン 南の海で楽しいバカンス」を上映し、併せて「せんきょ川柳コンテスト」も実施します。

また生徒会選挙等への投票器材の貸出なども行っています。

今後も、推進委員、推進員で力を合わせて、啓発効果の高い内容を検討し、自主的な啓発活動に取り組んでいきます。



明るい選挙研修会 ▲

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブ러리事業	選挙啓発に関する教育教材をそろえたライブ러리を整備し、推進員の出身団体において身近な生活の話題から政治や選挙について意見交換を行う活動に対し、ビデオや冊子等の教育教材の貸出しを行った。
	「未来の有権者」育成事業	区内中学校・高校を対象に、生徒会選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行った。
平成27年6月	明るい選挙研修会	新推進委員、新推進員向けに明推協や選挙に関する基礎的な研修会を行った。
11月	戸塚ふれあい区民まつり	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介と選挙クイズを行った。 日時：11月3日 場所：東戸塚小学校
平成28年2月	とつかイコット映画会事業	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介とイコットちゃんの記念撮影、「せんきょ川柳」コンテストを実施する。 日時：2月7日 場所：さくらプラザホール 作品：「劇場版ムーミン 南の海で楽しいバカンス」
6月、9月、12月、3月	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発事業「ザ・イコット」	投票参加に関する呼びかけとポケットティッシュの配布を行った。 第一回 日時：3月24日(火) 午後1時～午後3時 場所：アンダーバスウォーキングイベント会場 参加人数：18名 第二回 日時：4月5日(日) 午後1時～午後3時 場所：戸塚駅地下通路 参加人数：11名

▼ 戸塚ふれあい区民まつり



栄 区

栄区明るい選挙推進協議会では、「きれいな選挙の実現」と、「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

今年度は推進委員及び推進員の改選があり、平成27・28年度の推進委員12名、推進員211名と栄区明るい選挙推進大会を6月に開催しました。また、研修として講演会を開催し、講師に明治学院大学准教授の中谷美穂氏をお招きし、「若者の投票率を上げるには」をテーマに投票参加向上に有効と思われる取組み等を紹介していただきました。

7月に「はたらくるま大集合」、8月に「道の日イベント」に参加し、啓発物品等を使いながら選挙啓発を行いました。11月に「栄区民まつり」で似顔絵ブースを出展するとともに投票箱や記載台等を用意し、来場者に投票の模擬体験をしてもらい、投票することの大切さ等について啓発を行いました。

2月に「せんきょフォーラム」を実施し、区内の中学生と明推協の方を対象に講演と選挙啓発を実施する予定です。また、3月に「ヤングフェスティバル」に参加し「めいすいくん」とともに選挙啓発を実施する予定です。

▼道の日イベント



区民まつり ▲

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年 7月6日(月)	栄区明るい選挙推進大会	推進委員・推進員の方を対象に、第一部を大会として、活動内容や栄区の投票参加の状況、平成27年度の事業計画について説明した。また、第二部では、研修を兼ねた講演会を実施した。 講師：中谷 美穂 氏
7月20日(月)	はたらくるま大集合	めいすいくんお面作りのブースを出展した。また、めいすいくんと写真を撮るなどし、選挙啓発を実施した。 場所：JR本郷台駅前
8月6日(木)	道の日イベント	めいすいくんが小学生と一緒に打ち水をするなどし、選挙啓発を実施した。 場所：JR本郷台駅前
11月7日(土)	栄区民まつり	似顔絵ブースを出展し、来場者へ似顔絵と啓発冊子をプレゼントするとともに、選挙機材を用意し、来場者に模擬投票を体験してもらった。 場所：本郷中学校
平成28年 2月24日(水) (予定)	せんきょフォーラム	中学三年生を対象に政治・選挙に関する講演会を実施する。今年度は、一般区民の方にも参加してもらい啓発する予定。 場所：栄公会堂(予定)
通年	投票機材の貸出	各学校で実施される選挙会役員等の選挙に際し、投票機材を貸出した。
	啓発物品の作成	区制30周年と選挙啓発を合わせた啓発物品を作成し、各種イベント等で配布した。
年3回	イコット通信の発行	協議会活動の周知・組織の連携を図ることを目的として発行した。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	広報よこはま	広報よこはま3月号に選挙に関する特集記事を掲載した。選挙への関心を高めるとともに、投票参加を呼びかけた。
	街頭啓発「ザ・イコット」	啓発物品を配布しながら、投票参加を呼びかける街頭啓発を実施した。 日時：平成27年4月5日(日) 場所：JR本郷台駅前 参加者：12名

▼はたらくるま大集合



泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して、様々な啓発活動に取り組んでいます。

今年度は推進委員及び推進員の改選の年にあたり、新役員の決定や委嘱状の交付を行いました。

7月には明るい選挙推進のためのハンドブックをテキストに推進員の方を対象とした「泉区明るい選挙推進研修」を2回開催しました。11月には恒例の「泉区民ふれあいまつり」において啓発ブースを出店し、選挙についてのパネル展示やパネルの内容に基づいたクイズの実施など、楽しみながら選挙について学んでいただきました。

将来の有権者に向けた啓発事業としては、1月に中学3年生を対象とした民主主義と選挙のクイズ「あと3年」を配付します。

また、1月から2月にかけて小学6年生を対象に各学校が設定したテーマによる模擬選挙を行う「せんきょフォーラム」を実施します。候補者(先生)がテーマを公約として掲げて演説を行い、児童が自ら判断して投票する一連の流れを体験することで、選挙について学習してもらおうとともに関心を高めていきます。今年度は12校で実施します。

2月には、投票率の向上を目的とした「わいわいファミリーフォーラム」を開催し、総務省が制作した啓発動画と家族で楽しめるアニメ映画を上映します。

その他、イベント等での啓発物品の配布、生徒会選挙への投票器材の貸出などの啓発活動を実施しています。

▼泉区民ふれあいまつり



啓発物品 ▲

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年 7月9日	定例委員会	新役員の選任、平成26年度事業実績及び決算・会計監査報告、平成27年度事業計画及び予算案の承認。
7月11日・ 7月25日	明るい選挙推進研修	参加者合計39人
11月3日	泉区民ふれあいまつり	啓発ブースを出店し、選挙クイズや輪投げなど大人から子どもまで楽しめるブースを運営。啓発物品を配布。
11月26日	横浜市明るい選挙推進リーダー研修会	泉区から推進員2人が参加し、各区の明るい選挙推進運動に携わっているリーダー等と推進運動の意義や課題について話し合い、理解を深めた。
平成28年 1月	未来の有権者育成事業	中学3年生を対象に、社会科副教材「あと3年」を基にしたクイズを配付。回答する過程を通じて民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。
1月～2月	せんきょフォーラム	区内の小学6年生を対象に選挙の講義と模擬選挙による体験学習を併せた出前授業を行う(今年度は12校で実施。)
2月28日	わいわいファミリーフォーラム	映像による選挙に関する投票参加の呼びかけや映画の鑑賞、選挙に関するパネル展示及び明推協のPRを実施予定。
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員向けに事業の計画や活動報告等を掲載した機関紙を年4回発行。
通年	投票器材の貸出	区内の学校で行われる生徒会選挙に際し、投票器材の貸出を実施。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発事業「ザ・イコット」	立場駅、中田駅、緑園都市駅及びびいずみ野駅の計4か所を実施。延べ29人が参加し、啓発用ティッシュを配布し、投票参加の呼びかけを行った。

▼明るい選挙推進研修



第16回投票参加状況調査結果（抜粋）

市内有権者 6,500人に政治や選挙に関する意識調査を実施

瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

啓発事業として、7月には「瀬谷区明るい選挙推進大会」を開催しました。大会においては、決議文採択を行うとともに、神奈川新聞社の有吉敏氏を講師としてお招きし、『政治無関心層と18歳参政権』について講義いただきました。

8月には「明るい選挙こども映画会」を開催し、瀬谷公会堂にて『怪盗グルーのミニオン危機一発』を上映しました。また、併せて選挙啓発DVDの鑑賞を行うことで、親子で選挙への関心を高める機会としました。

10月には、「瀬谷フェスティバル」において、明るい選挙推進協議会のブースを出店しました。選挙パネルを展示するとともに、選挙クイズを実施し、広く区民へ明るくきれいな選挙の推進及び投票参加について、啓発を行いました。

1～2月には、区内の小学校6年生を対象として、児童が候補者となり、投票から開票までの流れを児童に経験してもらう「せんきょフォーラム」を実施します。

3月には、「推進員研修会」を開催し、政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行い、推進員の交流を図る予定です。

また、常時啓発活動として、区内小中学校等を対象に生徒会選挙のために、投票箱、記載台などの選挙器材の貸出しを実施しています。

▼ 推進大会



こども映画会 ▲

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成27年7月	瀬谷区明るい選挙推進大会	決議文採択、ハンドブック説明、明推協活動紹介、講演
8月	明るい選挙こども映画会	区内の幼児、児童とその保護者を対象に、映画と選挙啓発DVDの上映を実施 上映：『怪盗グルーのミニオン危機一発』 会場：瀬谷公会堂
10月	瀬谷フェスティバルにてブース出店	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出店し、選挙啓発活動を実施 会場：旧上瀬谷通信施設はらっぱ
平成28年1～2月	せんきょフォーラム	本物の選挙器材を使用し、投票から開票までの流れを児童に経験してもらう 4校で実施予定
3月	推進員研修会	政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行う研修会を実施予定
通年	投票器材の貸出し	選挙への理解を深めるため、区内小中学校等に投票箱や記載台等の貸出しを実施
通年	イコト通信の発行	推進委員・推進員向けの機関紙を発行 発行回数：年3回

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選挙	街頭啓発「ザ・イコト」	駅頭、商店街ほか各地区で、啓発物品を配布し、投票参加の呼びかけを行った。 活動場所：三ツ境駅、瀬谷駅、区内全域 活動回数：13回 参加人数：182人
	電光掲示板による広報	区役所の電光掲示板で投票日を広報。

▼ 瀬谷フェスティバル



横浜市選挙管理委員会では、平成27年4月12日に執行された横浜市議会議員選挙における「投票参加状況」や「政治意識」について調査を実施しました。その結果の一部をご紹介します。なお、調査結果については、本市選挙管理委員会ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/senkyo/tosho/gaiyo/gaiyo16.html>) に掲載しています。

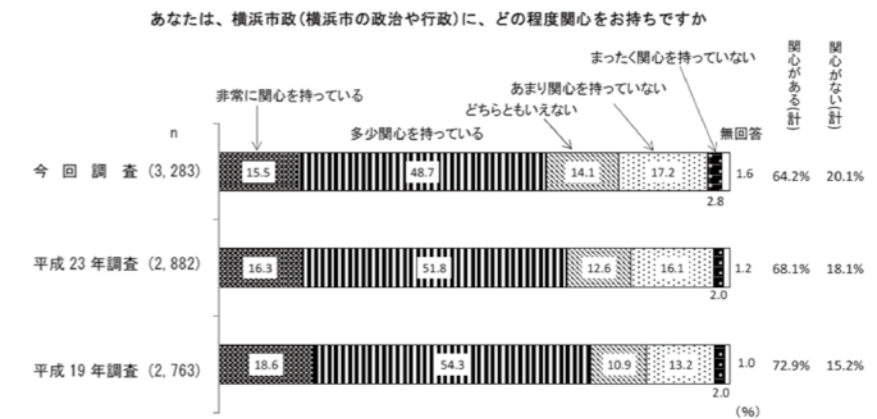
- 1 調査方法及び抽出方法：郵送方式、選挙人名簿による無作為抽出
- 2 回収結果：3,283(有効回収率 50.5%)
- 3 調査時期：平成27年8月14日～8月28日

調査結果の主なポイント

●政治意識

市政へ「関心あり」と回答した人は64.2%で、平成23年調査(68.1%)よりも3.9ポイント減少

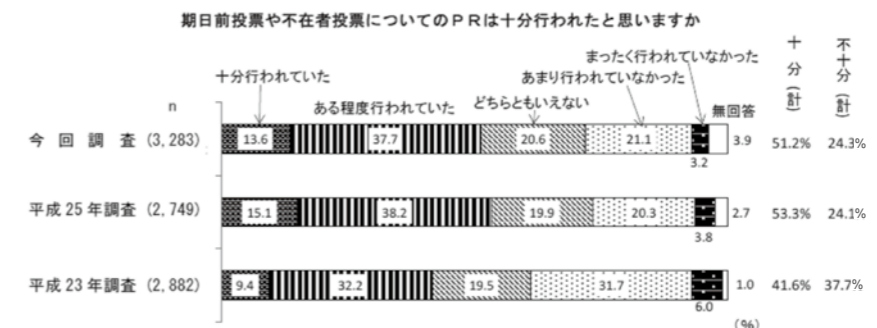
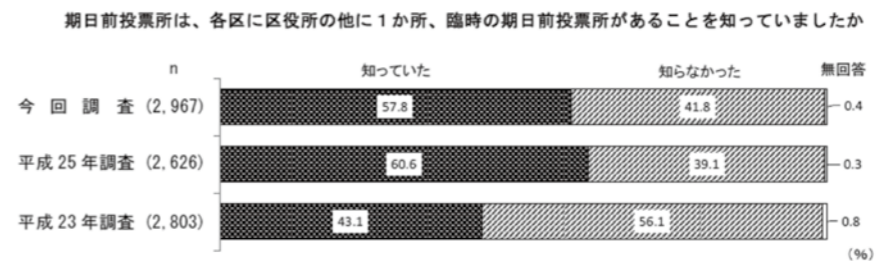
市政について関心があるかどうかを聞いたところ、「非常に関心を持っている」「多少関心を持っている」と回答した人を合わせると、64.2%と平成23年調査(68.1%)より3.9ポイント減少し、逆に関心を持っていない人は20.1%(同18.1%)と増加しています。



●期日前投票

区役所以外の臨時期日前投票所の認知度及び期日前投票や不在者投票のPRについて、50%以上の人が「知っていた」、「行われていた」と回答しており、平成25年調査と比べ、ほぼ同じ傾向

期日前投票、不在者投票を知っていたと回答した人に、臨時の期日前投票所があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」と回答した人は57.8%、期日前投票、不在者投票のPRが十分行われたか聞いたところ、「十分行われていた」「ある程度行われていた」と回答した人は51.2%と、それぞれ平成25年調査と比べてほぼ同じ傾向となっています。



横浜市 今年度の事業

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修事業	区明推協委員・推進員を対象とした明るい選挙推進研修会・推進大会の開催を通じて、推進員のスキルアップや明るい選挙と投票参加についての意識高揚を図りました。 1 リーダー研修会 平成27年11月26日 会場：関内ホール 小ホール 2 市・区推進大会 平成28年1月26日 会場：関内ホール 大ホール	1 リーダー研修会 講義・分散会討議・発表 2 市・区推進大会 決議文採択・記念講演・活動報告
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、小学校、中学校、高校の生徒会役員選挙や出前授業・特別授業の支援、若者啓発グループ等の若年層啓発事業を支援しています。	1 生徒会選挙、出前授業等物品の作成 2 若年層啓発活動支援
(公財) 明るい選挙推進協議会連携事業	(公財) 明るい選挙推進協議会が主催する事業に参加します。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えています。	1 (公財) 明るい選挙推進協議会連携事業 各種フォーラム 2 市・区明推協連携事業 区明推協活動助成等
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	明推協委員・推進員を対象に、明るい選挙推進運動に携わる際の、地域での啓発などを目的に、活動に際し必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、全推進員に配布しています。	発行部数 3,500冊
白バラよこはま (No.46) 発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布しています。	発行部数 2,500部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
若年層啓発事業	若者の間で普及しているツイッターを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行っています。定期発信のほか、区・市選管での啓発時等随時発信しています。	定期ツイート (発信日)：火・木曜日
新成人ダイレクトメール (横浜はたちブック)	新成人にとって必要な選挙の知識、選挙のルール、市政に関する情報のほか、若者の生活様式や感覚に即した情報を掲載した冊子「横浜はたちブック」を作成し、新成人に郵送しました。	郵送対象者：約34,000人 郵送時期：12月初旬
成人の日を祝うつどい	「成人の日を祝うつどい」会場内のアストロビジョンや場内放送で、新成人に選挙の重要性や投票参加を呼びかけました。	実施：平成28年11月11日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 対象：約35,300人
将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと3年」を配布し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行っています。今夏の参議院議員選挙から選挙権年齢20歳以上から18歳以上への引下げとなる公職選挙法改正の内容を反映したものに改訂し、これまでの「あと5年」からタイトルを変更しました。	中学校配送：27年9月 市内中学3年生 約34,000人
選挙制度等の広報	選挙管理委員会ホームページを活用して、選挙制度の周知を進めています。特に、指定施設での不在者投票や郵便による不在者投票(在宅投票)について、関係団体との連携を図るなど、対象者への積極的な広報を実施しています。	実施：通年
せんきょフォーラム	将来の有権者向けに、「出前授業教材キット」等を活用し、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前型授業・特別授業を実施しています。また、昨年度に引き続き、市立高校での大学教授による「特別授業」を実施しています。	実施：通年 会場：各区学校等 高校特別授業：市立高校(6校予定)
2016夏の参院選は18歳から～投票にイコット! キャンペーン～	平成28年夏に執行される参議院議員選挙に向け、27年10月から11月までを啓発キャンペーン期間として、近年低下傾向にある投票率向上のためのキャンペーンを日本赤十字社、区・市が連携して実施。10月には日産スタジアムにて横浜F・マリノス主催のイベントに参加し、11月には横浜駅献血車会場にて日本赤十字社との連携啓発を行いました。	区・市のイベントで活用する共通デザインの「のぼり旗」、「ウェットティッシュ」の作成。
啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加の呼びかけを図るため、啓発パネルを市営地下鉄の各駅に掲出しています。	地下鉄改札口付近 30駅34枚(通年)
市明推協関連	明るい選挙推進大会開催の後援・区明るい選挙推進研修会等開催の支援	
市明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、若者による横浜市選挙啓発団体(イコットプロジェクト)の啓発事業に対しても、引き続き支援しています。	



▲ 横浜F・マリノスとの連携啓発 (横浜 City Special 日産スタジアム)



▲ 中学3年生用社会科副教材 改訂版「あと3年」



▲ 投票にイコット! キャンペーン

平成27年
4月12日執行

第18回統一地方選挙 啓発実績

平成27年4月12日、第18回統一地方選挙が行われました。

市内公共機関・駅前・自治会町内会掲示板等にポスターや看板・横断幕などを掲出し、街頭啓発「ザ・イコット」、市内巡回型啓発イベント等で積極的な投票参加ときれいな選挙を呼びかけました。

今回の選挙は、横浜市議会議員一般選挙が42.0%、神奈川県議会議員一般選挙が41.8%、神奈川県知事選挙が41.9%の投票率でした。



▲ 懸垂幕 (みなとみらい地区)



▲ 超小型モビリティを活用した巡回型啓発



▲ 日本赤十字社、イコット連携イベント (横浜駅献血車会場)

平成27年執行 統一地方選挙 啓発事業実績

実施項目	数量	内容
駅前看板・横断幕	約300枚	横断幕等による周知を実施(鉄道関係、行政庁舎関係、地区センター、スポーツセンター、歩道橋、商店街、大学等)
街頭フラッグ	約60枚	みなとみらい動く歩道、関内市庁舎周辺にバナナフラッグ広告を展開
ポスターの掲出	約33,000枚	自治会・町内会掲示板やコンビニエンスストア(セブンイレブン・ローソン市内全店舗)、交通広告(駅貼り・車内)、郵便局、協力施設、公共機関等に掲出
啓発三角柱	26枚	区庁舎の啓発三角柱に啓発シールを掲出
公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,716箇所	選挙運動用ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示
主要駅構内広告	複数駅	地域住民が多く集まる主要駅へ集中的に広告を掲出・横浜駅改札口の円柱に柱巻き広告・市営地下鉄改札口横断幕等(市内12駅24枚掲出)
地下鉄改札口パネル	30駅34か所	市営地下鉄改札口付近に啓発パネルを掲出
車内中吊り広告	5社線	統一選の告知を車内中吊り広告で、有権者への啓発を実施(東急線・京急線・地下鉄・JR・シーサイドライン)
駅貼りポスター	133駅	市内全駅に啓発ポスターを掲出(B0・B1サイズ)
街頭動画広告の実施	市内2か所(5面)	街頭(横浜駅東口そごう前、相鉄線横浜駅)で動画広告を展開
スタジアム動画広告の実施	3施設	スタジアム(横浜スタジアム、日産スタジアム、ニッパツスタジアム)における動画広告を展開
車内動画広告	2社線	車内で動画広告を上映(JR根岸線・地下鉄グリーンライン)
環境に配慮した電気自動車での広報	延60台	電気自動車に放送設備を配備し共通デザインのラッピングを施した広報車で市内巡回啓発を実施
バスフロント幕	約870台	バスのフロントに啓発幕を掲出
車体側面シール	約2,200枚	ゴミ収集車・公用車の両側面に啓発ステッカーシールを掲出
ゴミ収集車	約1,200台	収集車巡回中に、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送
公用車	約200台	水道局・消防局・区の広報車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送
広報よこはま市・区版	約150万部	広報の市版・区版の紙面を活用した周知活動を展開
投票のご案内同封啓発チラシ	約176万部	「投票のご案内」に啓発チラシを同封
啓発回覧チラシ	約15万部	「投票のご案内」や、期日前投票の周知等、自治会へのチラシ回覧を実施
選挙公報	約178万部	ページの余白を活用し、投票日、投票時間、期日前投票等の情報を掲載 全世帯に配布
点字版、音声版「選挙のお知らせ」	ボランティア団体等の会員	選挙公報を点訳・録音した「選挙のお知らせ」(浜視協外)のボランティア団体等による作成、配布(区役所・図書館等へ設置)
新聞広告	7紙各1回	神奈川・朝日・読売・毎日・産経・日経・東京に全5段の広告を掲載(投票日・時間・期日前投票情報など)
地域情報紙・誌	複数誌	地域情報誌に啓発広告を掲出(リビング・ぼど・タウンニュース)
市広報番組等	2番組	広報課所管の広報番組・紙面枠で選挙周知を実施(ハマナビ、ヨコハマ・マイチヨイス、市民の広場)
ラジオCM広告	FMヨコハマニッポン放送	ラジオ FMヨコハマ・AMニッポン放送に20秒のラジオCMを放送
市区庁舎での啓発放送	市役所・18区役所	市・区庁舎などで投票参加の呼びかけを放送
市営地下鉄車内・構内放送	市営地下鉄全駅	地下鉄駅で投票参加の呼びかけを放送
電光掲示板	協力施設	横浜駅東口そごうビジョン、市庁舎10箇所・区庁舎は戸籍課窓口電光掲示板・区民フアワー等で実施
文字放送	t v k データ放送	t v k データ放送横浜市情報で、広報を実施

実施項目	数量	内容
レジでの動画放送	1社	ローソン市内全店舗でのレジ画面15秒動画の放送
セブンイレブン・ローソンでのポスター掲出	2社	市内全店舗にポスター(A3版)を掲出 セブンイレブン440枚・ローソン340枚
献血ルームでの啓発	献血ルーム(4施設)	献血者に選挙の周知を図るため、市内の献血ルーム内でポスター掲示、マスコット展示、啓発チラシ・物品を配布(二俣川、横浜駅東口、横浜駅西口、横浜駅Leaf)
かながわ赤十字情報プラザ	1施設	献血者に対して選挙の周知を図るため、ポスター掲示、啓発チラシ・物品を配布(横浜市中区)
献血バス会場での啓発	横浜駅西口会場	市内巡回イベントとの合同実施(のぼり旗の掲出・イコット Jr.・市内学生による啓発物品配布)、若者啓発団体イコットプロジェクトらが献血と投票の呼びかけを実施
大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出	市内協力大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出
大学のホームページへのPRバナナ掲載		大学が管理するホームページ(ポータルサイト)に啓発広告を掲載
大学構内での市内巡回啓発イベント協力		大学構内での市内巡回イベントを実施(のぼり旗の掲出・イコット Jr.・市内学生による投票参加の呼びかけと、啓発物品の配布を実施)
高校生の投票事務従事	市内希望高校	市立高校生徒による投票所での事務従事を実施(3校26人)
メール署名欄による広報	局区職員	統一選の周知活動として、各局区に選挙期間中のPRを依頼
Y-e-a-nの活用	局区職員	Y-e-a-nでの全職員共有情報の掲示
統一選特設ページの作成	随時	市選挙管理委員会のホームページで投票日や期日前投票を周知、選挙公報、候補者情報等を掲載
スマートフォン対応ページの制作	随時	スマートフォンから閲覧できる統一選特設ページを作成
ツイッターによる啓発情報の提供	随時	統一選特設ページの周知など、選挙関連情報や啓発活動を展開
横浜市ホームページ	随時	トップページでの統一選デザイン画像-を掲載
インターネットを活用した広告掲出	随時	地域別電子チラシ閲覧サイト「Shufoo!」で統一選周知を配信
街頭啓発「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発や、それぞれの場所を起点として場所を移動しながら投票参加の呼びかけを実施
[2015年春は「統一地方選挙」～投票にイコット! キャンペーン～]	18区市選管	平成27年4月に執行される統一地方選挙に向け、10月から11月までを啓発キャンペーン期間として、区・市選管が一体となった投票率向上啓発キャンペーンを実施
市内巡回型啓発キャンペーン	市内要所	横浜市で低炭素社会に向け実証実験中の、超小型モビリティと電気自動車を活用した巡回型啓発イベントの実施 統一選デザインでの車両で市内を3エリアに分け、啓発メンバーには市内学生を起用しキャラバン隊を編成し、期間中60回のイベントを実施
乳幼児健診を活用した啓発	18区	区で実施する乳幼児健診会場で、子育て世代への啓発を実施 家庭に持ち帰った際にも長期間の啓発を見込み、期日前投票の周知等、統一選啓発チラシ入りのクリアファイルを配布
横浜マラソン	会期中	横浜マラソン会場で、統一選告知と投票を呼びかける横断幕・ポスターを掲出し、啓発物品を配布
ポケットティッシュ	219,000個	
ブラカード	100本	
のぼり旗	120個	
投票にイコット! キャンペーン時啓発クリアファイル	計20,000枚	のぼり旗・ポスター・ウェットティッシュ・携帯カイロ・色鉛筆・ハンドタオルを各区及び中央イベントで掲出・配布
クリアファイル	10,000枚	統一選啓発チラシを入れ子育て世代への投票参加を促す
卓上マスコット	約230個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	市及び各区に1体
イコットバンチングイコット人形	22体	市及び各区に1～2体

横浜市 明るい選挙推進リーダー研修会 開催

平成 27 年 11 月 26 日 (木)、横浜関内ホール 小ホール (中区住吉町) を会場に、「横浜市明るい選挙推進リーダー研修会」を行いました。

参加者は、各区の明推協推進委員・推進員 43 名。主催者である横浜市明るい選挙推進協議会の浅井正美会長の挨拶に続き、横浜市選挙管理委員会の藤代耕一委員長より挨拶をいただきました。

その後、「主権者教育はどうあるべきかー 18 歳選挙権に向けてー」というタイトルで、明治学院大学法学部准教授・横浜市明るい選挙推進協議会副会長の中谷美穂氏による基調講演が行われました。

講演では、(1) 18 歳選挙権のインパクト、(2) 投票参加の現状、(3) 投票参加の規定要因、(4) 主権者教育はどうあるべきか、(5) 明推協活動とのリンクについてお話をいただきました。



その後、参加者は各区選管職員も加わり 65 名が 8 グループに分かれ、約 1 時間 30 分、討議を行いました。

討議のテーマと主な意見は次のとおりです。

(1) 参院選に向けた啓発の実施について

ア 「18 歳選挙権」実施にあたり、新たな有権者を含めた若年層に対する有効な啓発について

- ・街頭啓発に高校生や大学生に参加してもらう。
- ・学生の場合、部活等で当日投票に行けないことが多いので、期日前投票について周知する。
- ・学校の卒業式に明推協が参加し、保護者や学生に対して啓発を行う。
- ・選挙の際の投票所従事者に高校生や大学生、小学生の保護者等を起用する。

イ 最近の各種選挙の投票率の特徴として、これまで投票率が高い傾向にあった 70 歳以上の有権者をはじめ、全世代の投票率が低下傾向にある中で、すべての世代を対象とした有効な啓発について

- ・有権者の利便性向上のため、通勤途中のターミナル駅などでも投票することができるようにする。
- ・候補者等の公開討論会を明推協が開催する。

(2) 地域において、日頃から推進員が果たし得(う)る役割について

- ・自治会での会合や回覧板等で選挙制度などについて推進員が情報発信する。
- ・地区ごとの啓発活動を活発にする必要がある。
- ・選挙の日を“家族の日”とし、投票と一緒に行き、帰りに食事をする習慣をつくる。
- ・ネットでも選挙公報を閲覧できることを知った。町内会等で周知していくこととしたい。

グループ討議の後、各グループにて話し合われた内容について発表しました。



横浜市明るい選挙推進リーダー研修会 アンケートより

リーダー研修会では、43 名の参加者に対してアンケート用紙を配布し、35 名から基調講演や分散会についての御意見をいただきました。

【基調講演の感想】

- ・投票率を上げるために必要なポイントなどについて説明を受け、明推協活動に大いに参考となった。
- ・高齢者と若者の投票率の差が時代と共に大きくなっていることがよくわかった。

【分散会について】

- ・明推協の認知度が低く、地域での活動は難しいと感じている。
- ・他区での活動の内容を聴けて、大変勉強になった。

【その他、気づいた点】

- ・地域の中での役割の大切さを痛切に感じました。まだまだお手伝いできることが分かった。

ご参加、ご協力ありがとうございました。

横浜市・区明るい選挙推進大会 開催 (平成26年度)

横浜市・区明るい選挙推進大会は、横浜市・区明るい選挙推進協議会関係者が一堂に会し、明るい選挙と投票への参加を広く市民運動として展開することを確認し合う機会として開催しています。

平成 27 年 1 月 21 日 (水)、横浜新都市ホール (西区高島そごう横浜店 9 階) にて、「平成 26 年度横浜市・区明るい選挙推進大会」を行いました。



第一部の式典では、浅井会長の挨拶に続いて、来賓として横浜市の渡辺副市長、横浜市町内会連合会の佐々木会長、横浜市選挙管理委員会の木村委員長より祝辞をいただき、都筑区明るい選挙推進協議会の吉野副会長による、決議文採択が行われました。

続いて第二部では、歴史コメンテーターの一般財団法人日本普及機構代表理事 金谷 俊一郎氏により「なぜ戦前は、投票率 9 割を超えたのか」をテーマに記念講演が行われました。

ご職業が予備校講師で教える側の方ではありますが、知識量・探究心の旺盛さを感じ、歴史上の人物の引用を交えたお話に、参加者からも好評をいただきました。



さらに、第三部では旭区・港北区・戸塚区の明るい選挙推進協議会から、活動報告がありました。

いずれも特色のある啓発実施の紹介に、日頃啓発を実施いただいている参加者から、工夫についての共感や参考になったとの声も寄せられました。



このほか会場には、18 区の明るい選挙推進協議会の啓発活動を紹介したパネルや、啓発物品が展示されました。



<配付資料ほか>

白バラよこはま 45 号・記念品 (ステンレスボトル)



<アンケートによる主な意見>

【開催時期等】

- ・防災の日近くの週を避けて実施していただきたい。
- ・寒い時期ではあるが、新都市ホールは天候に左右されない会場で良かった。

【記念講演】

- ・誰にでもわかりやすい内容の講演だった。
- ・選挙に行くことは、政治をチェックする機能も兼ねていることが良くわかった。
- ・記念講演後退場する方も多く見られたのが残念だった。

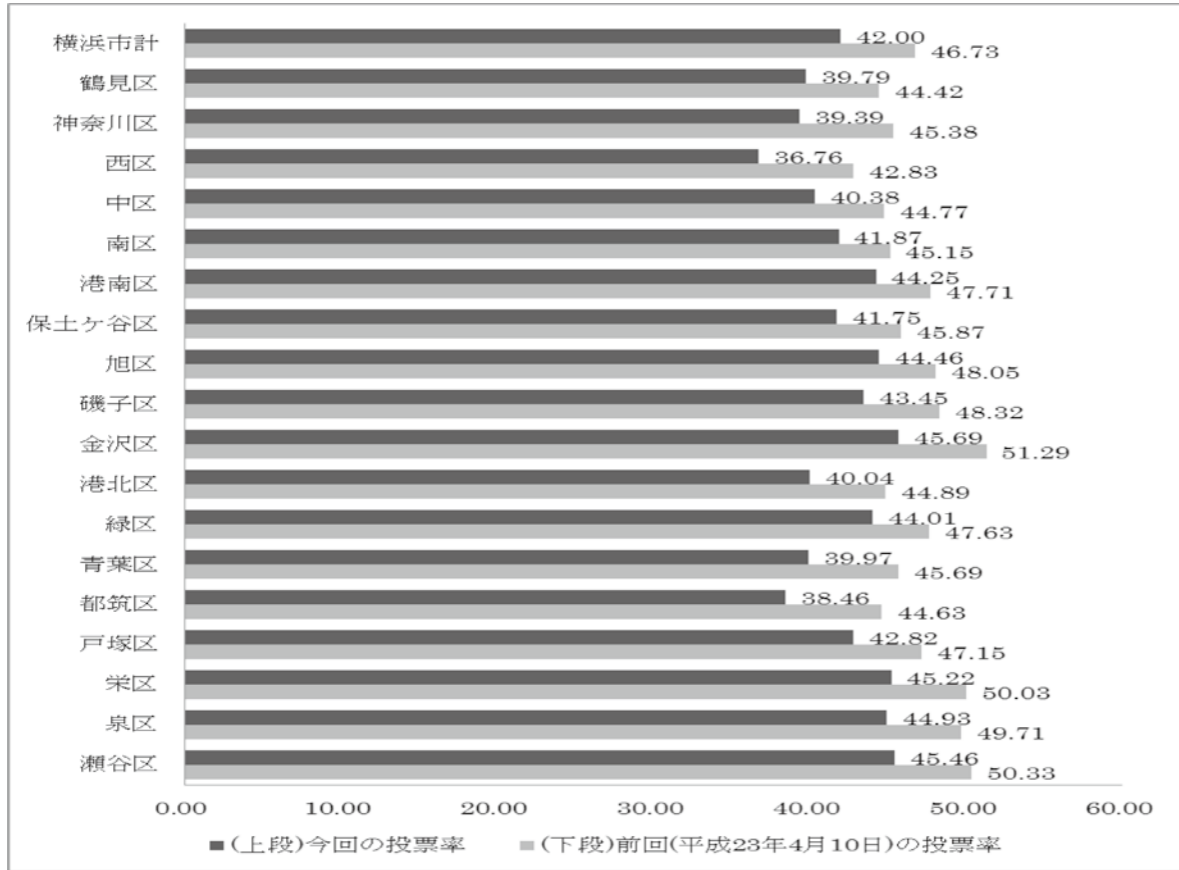
【地域の中での有効な活動】

- ～若年層の低投票率の改善について～
- ・投票管理者・立会人を若年層に従事してもらう。
- ・地域と自分たちの生活が政治に関連していることについて、学校教育で行うことが必要と考える。
- ・投票参加に商店街振興策と連携したインセンティブを付加したらどうか。
- ～高齢者を含む全ての世代への投票参加について～
- ・期日前投票所の増設や高齢者への巡回投票などの実施。
- ・周囲の方々へのきめ細かい投票参加の声掛けの実施。

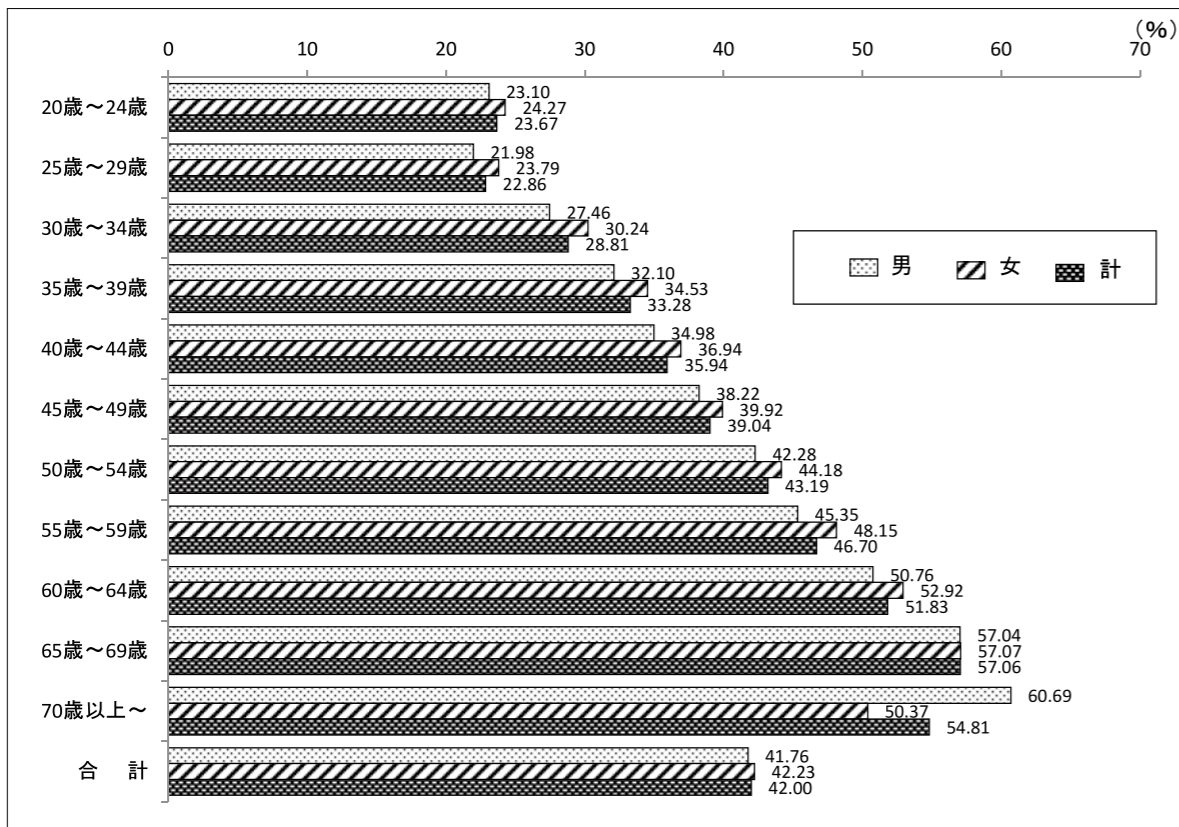
ご参加、ご協力ありがとうございました。

第18回統一地方選挙 横浜市議会議員一般選挙

<行政区別投票率(%)>



<年齢別投票率(%)>

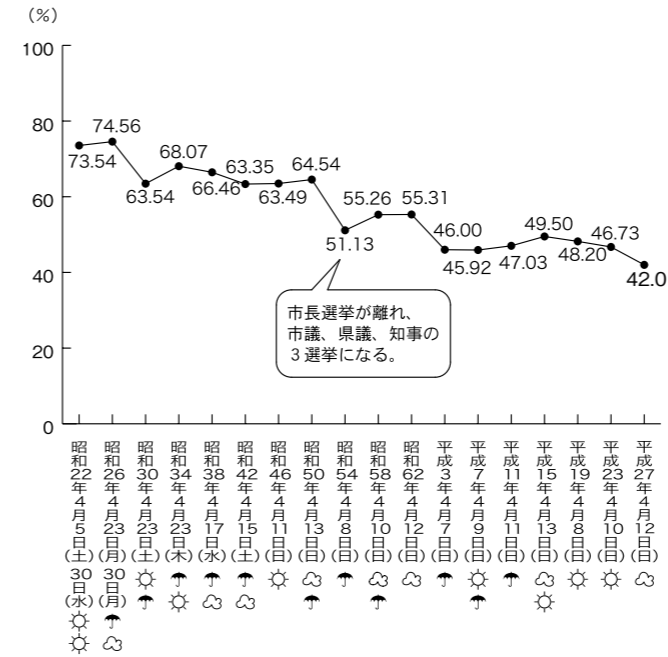


各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

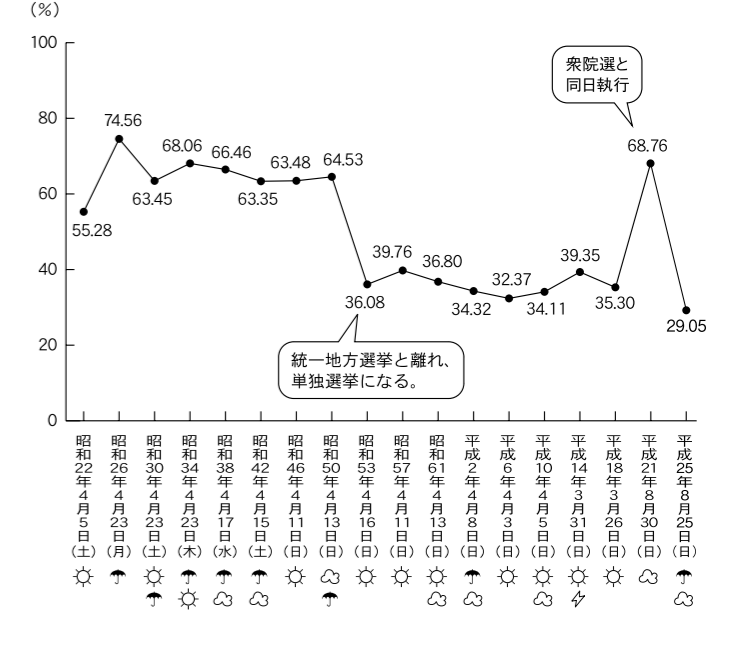
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



市長選挙

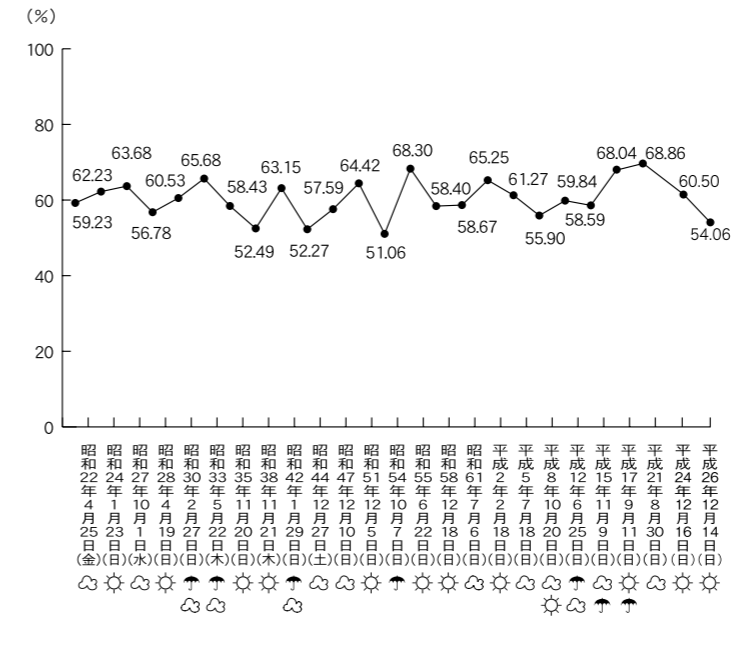
(昭和50年まで統一地方選挙)



注) 第一回統一地方選挙 昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙
第二回統一地方選挙 昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙

衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)

